

# 令和3年度社会教育関係事業報告 各施設利用状況一覧

## 社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	実績			計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
<b>1. 学校教育</b>										
<b>(2) 組織力と連携の強化もとの学校教育の推進（教育委員会全課）</b>										
1	社会教育関係職員研修	社会教育課	コミュニティ・スクール、家庭教育支援、学び舎「つくも」、GIGAスクール構想、地域部活動など、事業や施策をオンラインで学習。	社会教育関係職員	延べ58名	0	参加者が少なく、幅広い参加にはならなかった。		20	事業計画や市民ニーズの重要性について学ぶ研修を行い、社会教育事業に関わる実務力向上を図る。
<b>(3) 地域資源を活かし郷土愛を育む教育の実践（学校教育課・社会教育課・給食センター）</b>										
1	みよし市子ども交流派遣	社会教育課	友好都市のみよし市へ小学6年生を派遣	小学6年生	7名	0	新型コロナウイルス感染症の影響から、みよし市への派遣は中止し、上士別小学校5、6年生がオンラインで交流した。	15名	1,048	
2	魚釣り（異世代交流）	温根別公民館	小学校と共催	小学校児童	16名	3	温根別の自然に触れながら、講師である地域住民との交流も図られた。	12名		公民館の事業からCSの事業へ変更。
<b>(4) 外部人材や企業の協力による体験的学びの提供（学校教育課・スポーツ推進課）</b>										
1	オリンピック教室	合宿の里・スポーツ推進課	オリンピックムーブメント推進の一つとして、市内中学生に「オリンピック」や「オリンピックパリュウ」について学習する機会を提供し、学校生活や日常生活など、今後の成長に生かしてもらう。	士別南中学校2学年 朝日中学校全学年 士別中学校2学年	143名	245	成田郁久美（北海道オール・オリンピックズに所属）氏を講師に迎え、講師の様々な経験を通じた運動と座学でオリンピックムーブメントの意義、オリンピックパリュウなどを学習した。	150名	667	6月に士別中学校2学年、士別南中学校2学年、上士別中学校全学年、朝日中学校全学年を対象に北海道オール・オリンピックズの協力により実施。
<b>2. 社会教育</b>										
<b>(1) 次代を担う人材の育成とまちづくりへの参画意識の醸成（社会教育課・中央公民館）</b>										
1	式典・記念事業	社会教育課	成人の日を記念し、将来を担う若人を祝い、励ます。	新成人	86名 130名	96 103	令和3年から延期した成人式と令和4年成人式の2回を実施した。		226	成人年齢引下げによる式典名の変更（検討中）
2	士別まちづくり塾事業	中央公民館	市内の概ね20歳代及び30歳代の男女が、まちづくりに向けての学習活動を行い、市の将来を担う人材の育成を行うことを目的に開催する。		—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。		416	社会教育課へ所管替え。
3	子ども議会開催事業	中央公民館	市内中学生の「まちづくり」への興味・関心を育み、子どもの自由な発想を生かした意見・要望を市政に反映させる。	中学生	7名	133	子どもたちが調査・研究を重ねることにより、市政に興味を持ち、自らの資質向上が図られた。 3月22日実施 子ども議員7名	8名	170	
4	こども夢トーク事業	中央公民館	まちづくり基本条例の目的である「市民が主役のまちづくり」を推進するため、子どもが思うわがまち士別に対する夢や希望を市長と語り、考えやアイデア、提言を地域の活性化につなげる。	朝日中学校生徒 士別南中学校生徒	123名	34	コロナ禍の影響から、1校はオンラインにて実施。	小・中学校 3～4校	36	
<b>(2) 子どもの体験活動の充実と望ましい生活習慣の定着（社会教育課・中央公民館）</b>										
1	チャレンジスクール補助事業	社会教育課	望ましい生活習慣・学習習慣定着を目指して、3泊4日の宿泊体験活動	小学4年生	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	20名	420	社会教育課から中央公民館に移管
2	チャレンジ寺子屋	社会教育課	長期休業中の学習・運動習慣定着を目的とした学習・体験活動	小学3～6年生	延べ204名	50	定員を超える申込があった。士別翔雲高等学校ボランティア局が全日程運営サポートとして参加した。	210名	105	高校生が主体的に参画できるような事業作りを推進する。中学生が事業に参画できる環境をつくる。
3	しべつ土曜子ども文化村職業体験館	社会教育課	土曜日に子どもたちに職業体験の機会を提供する。	小学4～6年生	延べ66名	24	職業体験による児童の学習成果が見えづらい。写真館、ものづくり、塗装業、図書館司書、高速道路工事現場見学	延べ90名	104	市広報紙にて、参加児童の感想や写真の連載を行う。
4	しべつ土曜子ども文化村文化体験館	中央公民館	芸術や文化を愛する心を育て、豊かな情操を養う。	小学4～6年生	延べ66名	93	文化芸術活動などの体験を通して、伝統文化の魅力や歴史を学び子どもの健全育成が図られた。 羊毛クラフト、蜜蜂、油絵、ハンドベル	延べ90名	127	
5	しべつ土曜子ども文化村ふるさと自然歴史体験館	博物館	有意義な土曜日を過ごすため、地域人材を活用し、文化活動を中心とした体験活動を提供する。	小学4～6年生	延べ76名	57	新型コロナウイルス感染症を講じながら、石器づくり体験、川の生き物さがし、昆虫採集、まちなか探検、科学工作体験の5回を実施した。	延べ90名	163	
6	子ども会リーダー養成講習会	中央公民館	リーダーとして必要な基礎知識や技術の向上、さらには野外活動での体験学習を実施することにより、多くの経験と活動の幅を広げ、地域子ども会の活性化を図る。事業見直しにおいて、1市2町と共催の形で事業を継続し、SINCの認定へつなげる。	小学5・6年生	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	10名	5	
7	子ども会リーダーSINC交流研修会	中央公民館	SINCリーダーとしての指導力向上と仲間との交流を行う。	子ども会リーダー「SINC」	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	3名	0	

## 社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	実績			計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
8	1市2町合同 ジュニアリーダー研修会	中央公民館	1市2町の小学5・6年生がリーダーとして必要な知識や技術の向上、さらには体験学習を実施することにより、友情の輪を広げ、地域子ども会の活性化を図る。	小学5・6年生	4名	3	新型コロナウイルス感染症の影響から、10月にI期を延期して実施。道の緊急事態宣言等もあり、新型コロナウイルス感染症拡大防止でI、II期の時期は延期とし、III期の時期である10月に第I期として実施した。	30名	93	
9	他町子ども会リーダー交流事業	中央公民館	他市町リーダー研修会に参加し、子ども達の交流の輪を広げ、子ども達の成長を図る。		0名	0	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	3名	118	
10	公民館講座（博物館連携講座） 「川の生きものがし」	上士別公民館	博物館との連携講座 川に住む生きものに関する興味を喚起する	小中学生・保護者	11名	2	博物館職員の協力により、川に入り楽しみながら生きものの観察ができた。親子の親睦が図れた。	20名	0	
(3) 魅力ある高齢者の学びの場づくりと活動の推進（中央公民館・地域教育課）										
1	高齢者学習推進事業 九十九大学 学び舎「つくも」	中央公民館	「集い・学び・交流」をとおして高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、同世代の広い繋がりを構築することを目的として、基礎講座と自主企画活動を実施する。 なお、九十九大学は、本事業と統合して実施する。	60歳以上の市民	80名	466	【実績】 基礎講座3コース(士別学・教養・くらし)を各8講座、計24講座実施 自主企画活動は2活動(コース、スマホ教室)が発足 定員80人に対し、登録者数80人(大学関係20人、一般登録60人) 【成果】 登録者へのアンケート結果から、各講座に対する評価は比較的高く、対象者のニーズに沿った事業を展開できたと考ええる。 【課題】 コロナ禍の影響により、登録者の交流促進を図ることができなかった。	80名	874	基礎講座の一つを「士別学」から「北海道学」へ変更。 一部講座を「あさひクラブ」と連携して実施する。
2	朝日公民館講座 あさひクラブ	地域教育課	・朝日の山野草を学ぶ会 ・農園活動支援 ・ヨガ教室 ・公共施設訪問 ・保育園訪問	あさひクラブ登録者 ※朝日地区在住の 満60歳以上の方	延べ11名	0	新型コロナ中止 ・朝日の山野草を学ぶ会 ・ヨガ教室 ・公共施設訪問 ・保育園訪問	延30名	5	朝日の山野草を学ぶ会については令和4年度より朝日公民館事業からコミュニティスクールを活用した学校の事業として行う。
3	高齢者健康づくり講座	多寄公民館	健康に関する学習をする。	高齢者	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	8名	—	高齢者に興味をもってもらえるような講座を計画する。
4	第30回町民ゲートボール大会	温根別公民館	スポーツクラブと共催	高齢者	16名	9	高齢者の生きがいづくりと、日頃の練習の成果を試す場となっている	15名	10	
(4) 市民の主体的学習活動の促進（社会教育課・中央公民館・地域教育課・生涯学習情報センター）										
1	社会教育・生涯学習資料作成 「サークルメイト」 「生涯学習ガイド」 「まなび☆ガイド」	社会教育課	市内サークルや施設、提供可能な体験活動の一覧を作成し、学校や地域の学習、体験活動を促進する。	全市民		0	発行なし		212	サークルメイト、まなび☆ガイドを更新予定。 まなび☆ガイドでは、幅広い社会教育団体の掲載を目指し、サークルメイトの調査時に掲載確認を行う。
2	市民自主企画事業 (マイプラン・マイスタディ)	中央公民館	「マイプラン・マイスタディ」と「うるおい楽習塾」の両支援形態の見直しを行い、新たな支援制度となり、市内の各種団体やサークルが、市民を対象に自主的に企画した学習事業費の一部を支援し、学習機会の拡大及び団体等の活性化を図る。	市民団体等	1団体 15名	17	コロナ禍の影響から、1件のみの実績となった。	2団体 30名	227	
3	地域づくり講演会	多寄公民館	地区PTAと公民館との共催による講演会の開催	成人一般	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	50名	30	
4	生涯学習フェスティバル	図書館	文化協会との共催による、作品展示等の開催	全市民	220名	122	感染症拡大を防止のため、芸能発表、各体験会を中止した。次年度以降、感染症対策を適切に行った上での開催を計画し、市内の文化芸能発表の場としての継続と発展を図る。	220名	109	創作作品の展示は継続実施。 文化活動（開会式・芸能発表・カラオケ発表）、工芸体験の開催について文化協会と協議中。お茶会は中止とする。
(5) 地域の伝統文化や歴史を学ぶ機会の充実（社会教育課・地域教育課・博物館）										
1	指定文化財保護及び史跡整備	社会教育課	指定文化財及び史跡の保守・管理			317	屯田兵屋丸太橋改修工事を実施		231	
2	日向想い出の森親交会	多寄公民館	日向森林公園句碑の管理（草刈り 6/12、6/20実施） 総会：多寄研修センター（書面総会7/30）	成人一般	—	—			—	
3	温根別子ども太鼓教室	温根別公民館	小学校と共催	小学校児童	7名	3	地域の伝統文化継承に役立っている。	7名	5	
4	主催講座の開催	博物館	各種博物館講座の実施（地質巡り、古文書講座、サイエンスフェスなど）	全市民	169名	295	20回開催。 一部新型コロナウイルス感染症対策のため、中止や規模の縮小等の影響があったものの、それ以外はほぼ予定どおり実施した。	160名	342	
5	出前講座の開催	博物館	市内学校や、市民の依頼による特別講座などの開催	全市民	652名		17回開催。	600名		教育普及活動や博物館の利用促進のため、学校を中心に利用促進に努める。

## 社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	実績			計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
<b>3. スポーツの振興</b>										
<b>(1) 市民皆スポーツの実現のための機会づくり (スポーツ推進課・地域教育課)</b>										
1	第39回市民クロスカントリー大会	合宿の里・スポーツ推進課	クロスカントリーを通じて、健康づくりと生涯スポーツの推進を図る。		193名	311	新型コロナウイルスの感染防止対策を行う中で開催。多くの市民が参加し、特に大人の参加者が増えた。競技性を持ちつつ、運動する楽しさを感じられる大会として継続していくことが課題。	200名	329	新型コロナウイルス感染対策を行い開催。
2	総合型スポーツクラブ推進補助	合宿の里・スポーツ推進課	生涯スポーツ社会の実現を目指して、本市の重要施策として「総合型地域スポーツクラブ」を位置づけ運営委員会を主体として各種事業を展開し、市内4地区において地域の特性を生かした独自のスポーツクラブ推進を目指す。	会員市民	1,047名	1,300	新型コロナウイルスの影響から市民ウォーキング大会や全市指導者派遣事業など中止。事業縮小を余儀なくされたが、なんでもスポーツクラブや歩くスキーなどの事業を実施し、会員相互の親睦や健康増進などを図った。	1,000名	2,560	新型コロナウイルス感染対策に工夫、改善を図るなかで各種事業を展開。
3	2021士別市チャレンジデー	合宿の里・スポーツ推進課	市民全員対象の1日15分以上の継続した運動をした人数を競う世界規模のスポーツイベント。	全市民	4,389名	153	新型コロナウイルスにより、5月のチャレンジデーが10月に延期し、集団プログラムは未実施。代替イベントとしておうちでチャレンジデーが実施され、2,186名が参加。10月のチャレンジデーは、4,389名の参加により対戦相手の愛知県みよし市には勝利したが、目標としていた参加率には届かなかった。イベントの一過性ではなく、運動の継続による健康増進が課題。	8,308名	162	新型コロナウイルス感染対策を行うなかで、ラジオ体操・ポッチャ体験などの集団プログラムを再開するとともに、スポーツ施設の無料開放を行い運動機会を創出する。
4	第66回町民体育の集い	上士別公民館	町民の親睦交流を目的として開催 (体協との共催)	町民・東高校	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	200名	0	
5	子ども水泳教室	上士別公民館	水泳技術の向上と、体力づくりを目的として開催 (スポーツクラブとの共催)	小中学生	47名	3	子どもたちの練度にあわせた指導により、水泳技術の向上に繋がった。	45名	3	
6	町民ハカマ大会	上士別公民館	町民の親睦交流を目的として開催	町民	15名	1	感染対策を行ないながら開催できた。	20名	1	
7	子どもスキー教室	上士別公民館	スキー技術の向上と、体力づくりを目的として開催 (スポーツクラブとの共催)	小中学生	23名	6	子どもたちの練度にあわせた指導により、スキー技術の向上に繋がった。	45名	8	
8	町民冬季スポーツ大会	上士別公民館	町民の親睦交流を目的として開催	町民	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	50名	0	
9	町民フェスティバル	多寄公民館		幼児・青少年・成人一般	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。		30	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ※名称変更 多寄地区合同運動会
10	町民スキー教室	多寄公民館	スキーへの体験・理解と共に親睦を図る。	青少年・成人一般	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。		—	
11	温根別公民館長杯パークゴルフ大会	温根別公民館	スポーツクラブと共催 ※神社祭典委員長杯と合同開催の予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、神社祭が縮小開催となったため、スポーツクラブ会長杯との合同開催となる。	町民	13名	8	町民どうしの交流と、日頃の練習の成果を試す場となっている。	15名	10	
12	温根別町民卓球教室	温根別公民館	スポーツクラブとの共催	町民	14名	0	町民の健康づくりと交流の場となっている。	15名	5	
13	子どもスキー教室	温根別公民館	スポーツクラブ・子ども会と共催	子ども	12名	4	スキーの楽しさを知る事や技術の向上が図られた。	15名	27	
14	第56回朝日体育まつり	地域教育課	朝日町体育協会による開催	町民	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	300名	390	主催が「朝日町体育協会」から「朝日町スポーツ協会」へ変更
15	第44回町民駅伝大会	地域教育課	朝日町体育協会による開催	町民	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	60名 (15チーム)	90	主催が「朝日町体育協会」から「朝日町スポーツ協会」へ変更
16	2021朝日町民マラソン	地域教育課	朝日町体育協会による開催	町民	38名	75	町民の健康推進のため、企画・実施した。			R3の臨時事業のため、R4開催未定
17	第60回町民冬季スポーツ大会	地域教育課	朝日町体育協会による開催	町民	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	300名	86	主催が「朝日町体育協会」から「朝日町スポーツ協会」へ変更

## 社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	実績			計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
<b>(2) 各種スポーツイベントの充実とあり方の検討 (スポーツ推進課・地域教育課)</b>										
1	ホクレン・ディスタンスチャレンジ2021土別大会	合宿の里・スポーツ推進課	日本陸上界における中・長距離を代表とするトップアスリート選手強化及び人材発掘・育成を目的に大会を開催。道内5会場で実施。	日本陸連登録選手	177名	623	無観客開催。Youtubeによりライブ配信を実施し、視聴回数は10万回を超え、道の駅にモニターを設置し視聴できる環境を整え「合宿の里別」を広くPRすることができた。また、多くの参加者等が本市に宿泊したことで経済効果があった。大会5会場の中では、種目の関係で参加者が少ないことから、主催者の日本陸連と連携し、参加者数を増やしていくことが課題。	350名	739	3年ぶりの有観客開催。20回目の記念大会で道内5会場イベントを実施。
2	第35回サフォークランド土別ハーフマラソン大会	合宿の里・スポーツ推進課			—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	1,700名	6,300	新型コロナウイルス感染対策を行い3年ぶりの開催。前回大会の5種目を4種目に縮小。
3	第33回市長杯少年野球大会	合宿の里・スポーツ推進課	1市2町を対象に少年野球を開催し、野球の振興と青少年育成を図る。		60名	74	新型コロナウイルスの感染防止対策を行う中で開催。1市2町から4チームの参加があった。	—	—	市内少年野球チームが1チームとなり、2町のチームの存続も不透明であることから事業完了。
4	2021オリンピックデーラン土別大会	合宿の里・スポーツ推進課	オリンピック・パラリンピック選手とともに幼児から高齢者まで緑豊かな自然の中でウォーキングを楽しみながら、オリンピック精神の普及啓蒙を図る。		—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	1,000名	2,000	新型コロナウイルス感染対策を行い3年ぶりの開催。
5	第40回全日本サマージャンプ朝日大会兼第24回全日本ジュニア&レディースサマージャンプ朝日大会	地域教育課	朝日スキーイベント実行委員会による開催。全日ジュニア&レディースサマージャンプ朝日大会と全日本サマージャンプ朝日大会を統合して開催。		171名	1,900	例年、7月上旬に開催していた「サマージャンプ大会」を下旬に開催している「ジュニア&レディースサマージャンプ大会」と統合し開催した。また、道内各地の大会との連戦となったこともあり、参加人数が多くなり、活気のある大会となった。	160名	2,700	
6	第29回全日本サマーコンパインド朝日大会	地域教育課	朝日スキーイベント実行委員会による開催。	小学生～社会人	80名	810	道内外から多くの選手が参加し、選手間の交流が図られた大会となった。	90名	810	
7	2021合宿の里土別ジュニアサマージャンプ交流大会	地域教育課	朝日スキーイベント実行委員会による開催。	小・中学生	30名	400	道内の小中学生が参加し、選手間の交流が図られた大会となった。	50名	400	
8	第24回朝日ノルディックスキー大会	地域教育課	朝日スキーイベント実行委員会による開催。	小学生～社会人	328名	880	道内外から多くの選手が参加し、選手間の交流が図られた大会となった。	320名	880	
<b>(3) 各種スポーツ教室やオリンピック教室等の開催 (スポーツ推進課)</b>										
再掲	オリンピック教室	合宿の里・スポーツ推進課	オリンピックムーブメント推進の一つとして、市内中学生に「オリビズム」や「オリンピックバリュー」について学習する機会を提供し、学校生活や日常生活など、今後の成長に生かしてもらおう。	土別南中学校2学年 朝日中学校全学年 土別中学校2学年	143名	245	成田郁久美(北海道オール・オリンピックアンズに所属)氏を講師に迎え、講師の様々な経験を通じた運動と座学でオリンピックムーブメントの意義、オリンピックバリューなどを学習した。	150名	667	6月に土別中学校2学年、土別南中学校2学年、土別中学校全学年、朝日中学校全学年を対象に北海道オール・オリンピックアンズの協力により実施。
<b>(4) 合宿受入れ体制の充実 (スポーツ推進課・地域教育課)</b>										
1	スポーツ合宿事業(各種)	合宿の里・スポーツ推進課	スポーツ合宿における環境整備などを進める。		—	6,979	スポーツ合宿の里づくりを官民一体となって推進し、合宿招致や陸上教室の開催などを実施し、交流人口の拡大を図った。また、ドイツナショナルチーム(マラソン・競歩)の東京オリンピック直前合宿を受け入れ、小学生とのオンライン交流事業を行った。新型コロナウイルスの感染リスクを低減する取り組みに関する約束事を定めた合意書を合宿者と本市で交わした。コロナ禍により、減少した合宿者の回復が課題。	—	10,937	新たな(仮称)Joy run交流会事業により「楽しく走る」をテーマとした合宿者と市民のスポーツ交流を行う。
<b>(5) トップアスリートと市民との接点づくり (スポーツ推進課・地域教育課)</b>										
再掲	オリンピック教室	合宿の里・スポーツ推進課	オリンピックムーブメント推進の一つとして、市内中学生に「オリビズム」や「オリンピックバリュー」について学習する機会を提供し、学校生活や日常生活など、今後の成長に生かしてもらおう。	土別南中学校2学年 朝日中学校全学年 土別中学校2学年	143名	245	成田郁久美(北海道オール・オリンピックアンズに所属)氏を講師に迎え、講師の様々な経験を通じた運動と座学でオリンピックムーブメントの意義、オリンピックバリューなどを学習した。	150名	667	6月に土別中学校2学年、土別南中学校2学年、土別中学校全学年、朝日中学校全学年を対象に北海道オール・オリンピックアンズの協力により実施。

## 社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	実績			計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
4. 文化・芸術の振興										
(1) 市民の文化・芸術活動の促進 (中央公民館・地域教育課・生涯学習情報センター)										
1	市民総合文化祭中央地区会場	中央公民館	市民が日常で取り組む文化活動の学習成果の発表と作品を鑑賞する機会を提供するために市民総合文化祭を開催し、市民の文化活動に対する意識を高め、地域文化の向上を図る。	市民団体等 小・中学生	児童、生徒 作品展 140名	30	新型コロナウイルス感染症の影響から、中央地区会場展示会は中止となったが、オンライン展示(市ホームページで写真を掲載)を実施。 【作品数】4団体 87点 また、土教研の協力を得て小中学生作品展示をいぶきにて実施。 【絵画・毛筆・硬筆】小学生212点 中学生105点	2,000名	330	
2	上士別芸術発表会	上士別公民館	上士別地区のサークルや学校等の芸術活動発表	町民	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	300名	90	
3	多寄町文化祭	多寄公民館	作品展示会、芸術発表会	青少年・成人一般	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	300名	50	
4	上士別総合文化祭 第37回芸術発表大会	温根別公民館	温根別小学校学芸会と同日開催	町民	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	200名	115	
5	朝日地区文化祭	地域教育課	芸術発表・作品展示	町民	681名	178	朝日地区文化祭実行委員会(仮称)による開催の検討を進める	700名	150	朝日地区文化祭実行委員会(仮称)による開催とする。
6	公民館講座	中央公民館	現代社会に即応した各種講座を開催し、既存文化団体の育成や新たなサークルの結成を促進するとともに、市民活動や文化活動を通じて市民交流を図る。	全市民	15名	71	各講座への参加により、市民交流と親睦が図られた。 【実施状況】8/20 吾テラリウム体験 参加者15名		370	
7	4地区館合同講座 「藍染教室」(朝日地区)	上士別、多寄、 温根別、朝日 公民館	藍染の手法を学ぶ。	全市民	(上士)2名 (多寄)0名 (温根)1名 (朝日)1名 (市内)3名	0	上士別、多寄、温根別、朝日地区公民館合同の講座を開催した。	5名	5	朝日公民館で内容検討
8	4地区館合同講座 「アリザンダの花アレンジメント教室」 (温根別地区)	上士別、多寄、 温根別、朝日 公民館	フラワーアレンジメントを学ぶ。	全市民	(上士)1名 (多寄)0名 (温根)5名 (朝日)4名	20		15名	15	
9	4地区館合同講座 「しめ縄づくり講座」 (多寄地区)	上士別、多寄、 温根別、朝日 公民館	しめ縄作りの手法を学ぶ。	全市民	(上士)2名 (多寄)1名 (温根)1名 (朝日)5名	8		10名	10	
10	公民館講座「切り絵教室」	上士別公民館	教養講座の一環として開催	町民	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	10名	10	
11	公民館講座「そば打ち教室」	上士別公民館	そば打ち技術の習得と地域の親睦交流を図る	町民	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	15名	20	
12	公民館講座 「クラフト工芸教室」	上士別公民館	教養講座の一環として開催	一般 小中学生	9名	6	地域住民に講師を依頼できる講座であることから、今後も継続実施していきたい。	40名	20	・地区公民館合同開催を予定 ・子ども向け講座を夏休みに開催予定
13	切り絵講座	多寄公民館	切り絵の作り方について学ぶ。	成人一般	—	—	講師との調整がつかず中止した。		—	
14	ものづくり教室(異世代交流)	温根別公民館	小学校と共催	小学校児童・一般	16名	12	小学生と町民の交流と、文化祭に向けての作品作りの場ともなっている。 近年一般の参加者が減っており、内容の検討が必要。	15名	10	
15	フラワーアレンジメント教室	温根別公民館	会場：温根別生活改善センター	町民	6名	17	コロナ感染が拡大したことにより、申込後の欠席者が増えた。	10名	10	しめ縄作り教室として実施予定
16	朝日公民館講座 一般対象講座	地域教育課	水泳教室(2日間) 書道教室 宣言タイムマラソン 新年書初め会(午前の部・午後の部) 基礎スキー教室(4日間)	町民	延べ27名 22名 49名 延べ28名 延べ81名	254		300名	387	
17	朝日公民館講座 総合学習支援事業	地域教育課	朝日の地層(中止) 市民の森自然散策 あさひの音を語る会(3日間) わら細工 茶道教室(2日間) 昔の遊び	中学生 小学生	14名 延べ22名 14名 延べ15名 12名	35	学校支援事業については、次年度から、コミュニティスクールを活用した実施を検討する。	延べ80名	0	コミュニティスクールを活用した学校事業として実施する。

## 社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	実績			計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
(2) 市民の自主的な文化事業への支援 (社会教育課・地域教育課・図書館・博物館)										
1	人材育成・文化振興事業 文化創作活動補助事業	社会教育課	各種文化団体に対する事業補助金の利用促進	市民	0	0			200	
2	学校開放 (文化ゾーン)	社会教育課	社会教育団体への学校の特別教室開放		0	0	新型コロナウイルス感染症の影響から利用実績なし		0	
3	文集たよろ	多寄公民館	年1回の発行。次号40号	青少年・成人一般	—	—	3月に100部発行。		—	
4	個人作品発表事業	多寄公民館	個々に作成された作品を展示し、鑑賞の場の提供。	青少年・成人一般	—	—			—	
5	特別企画展の開催	博物館	「切り絵展」「博物館40周年企画展」「生活と刃物」「岩石展」「季節の行事展」		2,256名	461	新型コロナウイルス感染症対策をしながら、予定どおり実施した。	2,000名	991	「日本版協会巡回士別展」開催(3年に一度)
6	その他の特別展示活動	博物館	「多摩美術大学現代版画小品展」「道北地区博物館等連絡協議会巡回展」		394名		新型コロナウイルス感染症対策をしながら、予定どおり実施した。	400名		
7	士別市ブックスタート事業 (0歳児)	図書館	5ヶ月児を対象に、図書館説明を添えて絵本の入ったブックスタートバックを渡す	乳児、保護者	80名	341	絵本との出会いや読み聞かせをとおして、親子のふれあいを深めることや、絵本や物語の世界を楽しむきっかけ作りとなっている。心の栄養を育む事業として継続する。	75名	400	
8	士別市ブックスタート事業 (フォローアップ・3歳児)	図書館	3歳の誕生日の読み聞かせ会に参加してもらい、絵本1冊を手渡す	3歳児、保護者	83名			90名		
9	赤ちゃんよみきかせ会	図書館	乳幼児を対象に手遊び、絵本や紙芝居の読み聞かせ	乳幼児、保護者	29名		感染拡大防止のため、一部中止・縮小して実施した。0歳から3歳の乳幼児を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせと手遊びを行った	80名	—	
10	こどもの読書週間事業特別展示	図書館	こどもの読書週間に合わせた、各種図書等の展示	全対象	—	—		—		
11	読書通帳 (こどもの読書週間事業)	図書館	読書通帳一冊で本30冊を目標とした読書活動の推進として実施	乳幼児、児童生徒		11	継続事業として各イベントを計画したが、コロナ禍での外出自粛等の影響により参加者が減少傾向にある。感染症対策を考慮し、実施内容や時間帯を見直すなど、より気軽に参加できる事業として継続する。	—		
12	こども映画会 (こどもの読書週間事業)	図書館	子どもが楽しめるアニメ映画の上映	乳幼児、児童生徒	8名			20名		
13	よみきかせ会 (こどもの読書週間事業)	図書館	絵本、紙芝居などの読み聞かせ	乳幼児、児童生徒	8名			20名		
14	あさひよみきかせ会 (こどもの読書週間事業)	図書館	絵本、紙芝居などの読み聞かせ	乳幼児、児童生徒	11名			20名		
15	としょかんクイズ (こどもの読書週間事業)	図書館	クイズを出題し、図書館の本を参考に回答する	乳幼児、児童生徒	14名			20名		
16	こどもわくわく広場 (こどもの読書週間事業)	図書館	工作、紙芝居などの各種コーナーの特設	全市民	4名			30名		わくわく広場の開催時間帯を13時以降に変更する。
17	図書館バスヨムヨム号開放 (こどもの読書週間事業)	図書館	移動図書館車を展示し、まだ利用したことのない利用者に図書館とは違う雰囲気を感じてもらい、今後の利用促進を図る	全市民	1名			30名		
18	手づくり絵本教室	図書館	本への興味を持ってもらうための手づくり絵本教室	全市民	16名	10	感染症対策を考慮した上限定員を満了形で実施した。今後も絵本づくりをとおして想像力を育み、自分の世界を自由に表現できる事業として継続する。	30名	26	
19	夏のおはなし会	図書館	海やおばけの話等夏にちなんだ読み聞かせ	乳幼児、児童生徒	6名	—	夏の季節に合わせた絵本・紙芝居の読み聞かせを実施。感染拡大が続く中で、内容・時間を一部縮小して実施した。	20名		
20	平和推進関連図書展	図書館	「戦争と平和」をテーマとした図書資料の展示	全市民	—		戦争や原爆の悲惨さと平和への願いを伝える写真パネル及び関連する図書の展示を実施した。	—		
21	平和を願うよみきかせ会	図書館	平和への願いが込められた絵本や紙芝居の読み聞かせ	全市民	33名	—	絵本読み聞かせしべつ鳩の会の協力による、平和への願いが込められた絵本・紙芝居の読み聞かせ会を実施。市内保育園から参加をいただいた。	20名	—	
22	平和映画会	図書館	戦争を題材とした子ども向けと大人向け映画の上映	全市民	6名		子ども向けアニメ、大人向け映画を上映。来場者の減少や上映可能な作品が限られていることから、映画会を廃止する方向で検討する。	20名		来場者数が減少傾向にあること、また、上映可能な戦争を題材とする作品の新規販売数がないことから、映画会については中止とし、代わりとなる事業の有無を含め検討する。

## 社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	実績			計画			
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点	
23	夏の映画会（朝日図書室）	図書館	幼児・児童を対象としたアニメ映画等の上映	乳幼児、児童生徒	13名	—	あさひサンライズホールで実施する。来場者も定着してきており、今後も継続的に実施する。	20名	—		
24	文集しべつの発行	図書館	市内小学生、中学生が作成した作品を募集し、冊子を発行する	児童生徒	131名	186	市内小中学生が授業で作成した作文や作品を募集し、文集を発行した。文集の郷土資料としての価値や児童生徒の授業成果の発表の場としての活用を目的に、各学校と協力しながら継続する。	130名	198		
25	各種テーマ展示	図書館	一般図書・絵本等のテーマ展示及び貸出 会場：一般閲覧室、児童図書室	全市民	—	—	展示実施回数：78回 季節や身近な話題など、趣向を凝らしたテーマ展示の実施により、来館者の興味関心を高め、貸出利用にも繋がっている。	—	—		
26	士別市読書感想文コンクール	図書館	市内小学校・中学校・高等学校の児童生徒を対象に学校図書館協会と共催で実施	全市民	377名	148	学校図書館協会との共催により実施。対象児童生徒数は減少傾向にあるが、各学校における取組や指導が定着しており、全通コンクールにおいて8編の受賞があり、また、各団体の取組に対する特別賞として士別翔雲高校が学校賞を受賞した。	380名	147		
27	秋の読書週間テーマ展 （読書週間事業）	図書館	「最後の頁を閉じた 違う私があった」をテーマに資料を展示貸出	全市民	—	15	読書週間のテーマに沿った図書資料の展示・貸出を行い、利用促進に努めた。  読書週間期間に併せ、本や図書館に親しんでいただくことを目的に各種事業を開催した。各事業、感染症対策を施し参加型の事業については事前申込みでの定員制とし、密にならないよう配慮した。 コロナ禍の中で、図書館全体に当てはまる部分でもあるが、自主的に来館を自粛するような傾向も見受けられ、新規事業として実施した「ブックカバー風マスクケース作り」は予定した参加を見込めたものの、他の事業については、参加者数が減少傾向の結果となった。 今後の事業継続にあたり、事業内容の検証・見直しを行い、気軽に来館し、楽しむことのできる事業展開などを検討する必要がある。	—	—		
28	子ども向けテーマ展示 （読書週間事業）	図書館	絵本や図鑑などの展示貸出	乳幼児、児童生徒	—			—			
29	大型絵本づくり （読書週間事業）	図書館	「天気」をテーマにイラスト等を描いたものを集め、1冊の大型絵本として作成する	乳幼児、児童生徒	80名			80名			
30	こわいおはなし会 （読書週間事業）	図書館	オバケの話の大型絵本、パネルシアター等の読み聞かせ会	乳幼児、児童生徒	34名			20名			
31	あさひよみきかせ会 （読書週間事業）	図書館	大型絵本、大型紙芝居等の読み聞かせ会	乳幼児、児童生徒	15名			20名		50	
32	ハロウィンよみきかせ会 （読書週間事業）	図書館	おばけの絵本などの読み聞かせとゲームで楽しむ	乳幼児、児童生徒	2名			20名			
33	古本・古雑誌リサイクルフェア （読書週間事業）	図書館	除籍図書や市民から寄贈された書籍などを無料で提供する	全市民	105名			150名			
34	ブックカバー風マスクケース作り （読書週間事業）	図書館	クリアファイルを使ったオリジナルのマスクケースを作る	全市民	11名			20名			
35	ブックカバーかけ体験会 （読書週間事業）	図書館	参加者が持参した本（3冊まで）へのブックカバーかけの体験	全市民	4名			20名			
36	秋の映画会 （読書週間事業）	図書館	子ども向けアニメと日本映画を上映	全市民	12名			20名			
37	クリスマス特別展示	図書館	クリスマスの絵本を展示貸出	乳幼児、児童生徒	—	—	感染症拡大防止に留意し、クリスマスという文化にふれることができる各種事業を実施した。 クリスマスリース作りは、対象を児童生徒と想定していたが、一般の参加者が多く、対象者の検討と完成作品の見本を掲示するなど、周知方法についても改善する必要がある。	—	—		
38	クリスマスリース作り	図書館	手軽に出来るクリスマスリース作り	乳幼児、児童生徒	11名			20名	16		
39	クリスマスよみきかせ会	図書館	クリスマスに関する絵本、紙芝居の読み聞かせ	乳幼児、児童生徒	64名			20名			
40	あさひよみきかせ会	図書館	絵本、紙芝居などの読み聞かせ	乳幼児、児童生徒	15名	—	読み聞かせの会場である「きらあさひ」が、あさひ認定ことも園内に移転になったことに伴い、保育園児の参加がより安全で容易になった。絵本読み聞かせ鳩の会の協力を得ながら継続実施する。	20名	—		
41	ひなまつり絵本展示	図書館	ひなまつり関連の絵本などを展示貸出	全市民	—	—	絵本や読み聞かせをとおして、参加者や来館者にひなまつりという行事をより身近に感じてもらうことができた。	—	—		
42	ひなまつりよみきかせ会	図書館	大型絵本・大型紙芝居の読み聞かせ、パネルシアターなど	乳幼児、児童生徒	15名	—		20名	—		
43	ひなまつりコンサート	図書館	ひなまつりの曲などの演奏会	全市民	32名	10	士別吹奏楽団の演奏によるコンサートを開催した。事前申込みによる入場制限、換気・パーテーションの設置等により感染症対策を行った上で実施した。 幼児から一般まで幅広い年齢層の参加があり、音楽にふれる貴重な機会として今後も継続する。	50名	10		
44	移動図書館車活動 （市内外地区、学校ほか）	図書館	本館から遠隔の各地域、小中学校、保育園、幼稚園、高齢者施設等を巡回し、図書の貸出を行う	全市民	1,450名	—	移動図書館車での貸出冊数：11,404冊 巡回場所については、利用状況を注視しながらより効果的に巡回が行えるよう巡回期毎の見直し・検証を行う。	1,400名	—		

## 社会教育事業 報告・計画

番号	事業名	担当	事業内容	対象	実績			計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
5. 教育・学習環境の整備										
(1) 地域とともにある学校づくりの促進 (学校教育課・社会教育課・東高校)										
1	地域学校協働活動の体制構築	社会教育課	学校を核とした地域づくりの推進のため、地域学校協働本部の体制を構築、コミュニティ・スクールと一体的な推進を図った。	全市民	1,650名	4,561	新型コロナウイルス感染症の影響から、地域学校協働活動の実施数は少なかった。	2,000名	5,582	ウィズコロナで実施できる活動を考えられるような情報提供を徹底する。これまでの課題と照らし合わせた推進方針の見直し

分館・施設管理関係										
	事業名	担当	事業内容	対象	実績			計画		
					参加人数 実施回数	決算 (千円)	成果・課題	想定 人数/回数	予算 (千円)	前年度からの変更点
	下土別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	69名	73	パークゴルフ講習会、しめ縄作り講習会を実施		128	
	中土別分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	25名	85	パークゴルフ講習会、民謡講習会を実施		128	
	武徳分館事業	中央公民館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	一般	55名	127	環境問題講習会、しめ縄作り講習会、ストレッチ講習(2回)、ハーバリウム講習会を実施		128	
	北温分館	温根別公民館	分館環境整備・料理教室・手芸教室・親子ふれあい祭など	一般	56名	33	コロナにより中止となった事業が多数あったが、北温地区住民の交流の場となっている。		25	
	壬子分館事業	地域教育課	壬子地区運動会、パークゴルフ大会、手芸教室、料理教室、手芸教室、室内軽スポーツ	一般	18名	40	新型コロナ中止 ・壬子地区運動会 ・パークゴルフ大会 ・室内軽スポーツ		40	
	三栄分館事業	地域教育課	ゲートボール大会(年2回)、収穫感謝祭、料理教室、手芸教室(2回)	一般	27名	28	新型コロナ中止 ・ゲートボール大会(年2回)		40	
	登和里分館事業	地域教育課	登和里地区運動会、フラワーアレンジメント、新年レクリエーション、手芸教室、パークゴルフ大会、料理教室	一般	21名	41	新型コロナ中止 ・登和里地区運動会 ・新年レクリエーション ・パークゴルフ大会		40	
	朝日郷土資料室整備業務	地域教育課	郷土資料の維持管理		337名	975	知恵の蔵運営委員による展示資料の充実及び施設の維持管理に努めた。	500名	1,025	
	瑞穂獅子舞伝習館管理業務	地域教育課	施設の維持管理			322	適切な施設管理を行った。		317	
	あさひライブラリー管理業務	地域教育課	指定管理			70,906	令和2年度から指定管理制度導入(～令和6年度まで)		74,509	
	センター管理業務	図書館	施設維持管理及び貸館ほか		—	28,893	各貸室の利用は、緊急事態宣言の発出に伴う休館や利用団体独自の活動自粛等により減少している。施設全体の適切な感染予防対策・安全管理を徹底し、安心して学習及び活動できる場の提供に努める。	—	31,956	
	センター施設整備	図書館	施設内各設備修繕 非常灯及び蓄電池交換 9箇所・外壁一部修繕など		—	163	非常灯ランプ交換 163千円(9箇所) 誘導灯については半導体不足の影響で年度内の整備ができなかったことから、R4年度については、資材の流通状況に留意し、早期発注に努める。	—	1,599	非常灯ランプ交換 180千円(10箇所) 誘導灯本体・蓄電池・ランプ交換 421千円(11箇所) 情報センター地下湧水処理 388千円 視聴覚室ワイヤレスマイク更新 610千円